

平成29年度
埼玉県技術・家庭科
懇話会

会報

第39号

平成30年3月31日発行

懇話会会長あいさつ

埼玉県技術・家庭科懇話会会長

羽島隆夫

本年度より、池照正一会長の後を受け、埼玉県技術・家庭科懇話会会長をつとめさせて頂くことになりました羽島隆夫です。どうぞ宜しくお願いします。先代の各会長さん、多くの会員の皆様のお力により支えられてきた本会です、今後も全国にも貴重な技術・家庭科の組織として、諸活動に取り組んで参りたいと思います。皆様方のご支援ご協力をお願い致します。

さて、「春が来るたび、一つ年を重ね、目に映る景色も少しずつ変わるよ・・・」竹内まりや「人生の扉」の歌はこんな歌い出しだったと思います。この会報が配布される頃、各学校では新入生を迎え、先生方の異動等々により「目に映る景色」も少し変わって新年度が動き始めていることでしょう。皆様にとりまして、平成30年度も充実した1年となりますことを希望します。

しかし、本年は、昨年以上に諸課題が多くなることと思います。新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を編成し「主体的・対話的な深い学び」の具現化を図る授業改善が求められています。技術・家庭科の学習においてもこれらをどうとらえ、いかに実現していくのが課題となります。ここには、一昨年行われた関ブロ埼玉大会で得た成果が大いに活かすことと思います。研究の成果、研究活動から得た成果、その後の実践により更に改良・改善されたこと等々、これらの成果を指導法、教材・教具の活用、評価の工夫等、本年から始まると聞いておりますが「先行実施」の期間にいろいろと活用し、埼玉の子ども達に楽しく、より充実した技術・家庭の授業が展開されることを祈念します。また本懇話会もそれらに何かのお手伝いできればと考えております。

研究会会長あいさつ

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会会長

松崎和則

(鴻巣市立鴻巣北中学校長)

埼玉県技術・家庭科懇話会 会長 羽島隆夫 様をはじめ会員の皆様方には、物心両面からの御支援に衷心より御礼申し上げます。

平成29年度は、第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会埼玉大会に於ける創造アイデアロボットコンテスト及びアイデアバックコンクールを、文部科学省教科調査官 上野耕史 様、春日部市長 石川良三 様、春日部市教育委員会教育長 植竹英生 様をはじめ多くの御来賓の皆様や審査員の先生方をお迎えし、ウイング・ハット春日部で盛大に開催できましたことに心から感謝を申し上げます。本県の結束力と企画力を大いにアピールをすることができたと自負しております。

さて、平成30年度から次期学習指導要領の移行期を迎え、研究を積み重ねていく必要が出てきています。また会員が若返り、新たな視点から技術・家庭科を構築していこうとする動きに、頼もしさと意欲を感じております。

本年度の埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会では、研究の方向性として次の3点を掲げております。1点目は「昨年実施した関ブロ埼玉大会の研究を継承すると共に検証をしていくこと」、2点目は「関ブロ創造ものづくりフェア埼玉大会を成功裡に終了させること」、3点目は「次期学習指導要領について研究を深めていくこと」とし、平成30年2月20日(火)に教員研究発表会を文部科学省教科調査官 筒井恭子 様をお迎えして開催しました。今後とも文部科学省・本県教育委員会・埼玉大学等の引き続きの御指導をお願いしております。

結びに、埼玉県技術・家庭科懇話会が本県技術・家庭科教育の支えとなることを願うとともに、若返っている本県教員への御指導と御示唆をお願い申し上げます。